**福井県内科医会の先生がた**

平素より大変お世話になっております。福井大学眼科学教室の高村佳弘と申します。糖尿病患者における内科医と眼科医の連携を更に高めるべく、この度先生方にぜひアンケートにご協力いただけますよう、お願いする次第です。

　糖尿病網膜症によって視覚身障者となってしまう原因について、現在 福井大学が中心となって全国多施設調査しておりますが、調べるほどに眼科初診時の網膜症の状態の悪さがすでに決定打となっている実情が浮かび上がってきます。裏を返すと、やはり初期における眼科受診、その後の定期検査の重要性が示唆されます。これを達成するには、内科の先生方からのご紹介が最も重要であることは言うまでもありません。

　ただし、レセプトベースの調査では2年間眼底検査を受けた事の無い糖尿病患者の割合はどの都道府県におきましても半数に上る状態です。先日、内科の先生方とお話した際、眼科への紹介の重要性は理解しているが、どこに紹介すべきわからない、（眼科がない、診療で忙しそうなので紹介していない、など）とのご意見をいただきました。そこで、そうした内科の先生がたに近隣の眼科医の存在をお示しする仲介をすれば、検診率の向上につながるのでは、と考えた次第です。

すでに眼科医に紹介しておられていて、そうした仲介の必要のない内科の先生も大勢おられると思います。まずアンケートを取らせていただいて、眼科の紹介先について相談したいと思っていただける先生がどれだけいらっしゃるかをまず知りたいと思います。内科医会の先生がたにおかれましては、新井内科医会会長のご尽力のお陰をもちまして、メールさせていただくことができました。同時に添付したアンケートにお答えいただき、私のメール　takamurayoshihiro@gmail.comまでお送りいただけますと大変有難いです。福井県眼科医会の方でも、糖尿病患者の眼底検査に積極的な福井県の眼科医のリストを作成しました。この中から、眼科医への紹介をご希望いただいたご施設から近い眼科施設を複数ご提案できたらと思います。なお眼科医リストには、内科がある総合病院も含まれますが、そちらに内科管理がシフトされることなく、紹介元への通院に変化を与えないよう、眼科医に注意させます。アンケートにぜひご参加いただけますと幸いです。

また、近年はSGLT-2阻害剤が糖尿病黄斑浮腫の改善に寄与し、逆に腎性貧血で処方されるHIF-PH阻害剤は糖尿病黄斑浮腫を悪化させるリスクがあり、処方開始時には眼科への紹介が推奨されております。それに関する実態調査になるような質問も作らせていただきました。併せてお答えいただけますと有難いです。

内科と眼科の連携を深めることで、後期失明患者の発生を少しでも減らせたらと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　福井大学眼科学教室　准教授

　高村　佳弘　拝

**アンケート内容** 糖尿病患者について

１．糖尿病患者を診たら眼科に紹介していますか？

A　必ず紹介している　　B　時々紹介している　C　紹介していない

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　答え

２．１でCとお答えになった先生にお尋ねします。その理由は

A　面倒、時間がない　B　紹介先がわからない、紹介先がない　C　紹介する必要を感じない　　D　その他　（　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　答え

２．ご施設から近隣の眼科施設をご提案させていただくことで、眼科と内科との結び付けを図ろうと考えています。このサポートを希望されますか？

Ａ　希望する　　　Ｂ　希望しない。　　Ｃ　紹介先があるので必要ない。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　答え

以下、SGLT2阻害剤、HIF-PH阻害剤についてもお尋ねします。以下の質問には先の質問とは関連なくお答えいただけますと幸いです。

SGLT２阻害剤について

SGLT2阻害剤が、糖尿病黄斑浮腫の改善に有効であるとの報告が寄せられています。

SGLT2阻害剤を開始した後の黄斑浮腫の改善を前向きに解析する研究を検討しています。

1. SGLT2阻害剤を処方していますか？

Ａ　はい　　　　Ｂ　いいえ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　答え

２．SGLT2阻害剤を処方開始する前に眼科に紹介（連絡）いただくことは可能ですか？

Ａ　はい　　　　Ｂ　いいえ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　答え

HIF-PH阻害剤について

HIF-PH阻害剤が、糖尿病黄斑浮腫を悪化させるリスクがあり、処方開始の際には眼科受診が推奨されています。

HIF-PH阻害剤を開始した後の糖尿病網膜症、黄斑浮腫の変化を前向きに解析する研究を検討しています。

1．HIF-PH阻害剤を処方していますか？

Ａ　はい　　　　Ｂ　いいえ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　答え

２．HIF-PH阻害剤を処方開始する前に眼科に紹介（連絡）いただくことは可能ですか？

Ａ　はい　　　　Ｂ　いいえ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　答え

ありがとうございました。

takamurayoshihiro@gmail.comまで添付してお送りいただけますと幸いです。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　福井大学眼科学教室　准教授

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高村佳弘